

WEEKLY REPORT

SAGA YAMATO ROTARY CLUB

国際ロータリー第2740地区 第1グループ

第910回例会

2012～2013 年度国際ロータリーのテーマ



RI 会長

田中作次(埼玉県・八潮 RC)

第2740地区ガバナー

福元裕二(佐賀北 RC)

プログラム

2013年4月16日(火)

- ① 開会点鐘
- ② 開会の辞
- ② ロータリーソング
「それこそロータリー」
- ③ 四つのテスト
- ⑤ 来訪者紹介
- ⑥ 会長の時間
- ⑦ 幹事報告
- ⑧ 委員会報告
- 会 食
- ⑨ 会員卓話
金子智則会員、古藤俊隆会員
- ⑩ 出席報告、ニコニコ BOX 報告
- ⑪ 閉会点鐘

MEMO

行事予定

月 日	行 事	会 場
4月23日(火)	第911回例会	龍登園
4月30日(火)	休 会	・・・
5月07日(火)	第912回例会	龍登園

※次回例会 4月23日(火)

12:30 龍登園

創 立 1994/2/22
 例会日 毎週火曜日 12:30~13:30
 会場 ホテル龍登園 0952-62-3111
 第4火曜日 18:30~19:30
 会場 イタリアンレストラン吉野屋

会 長 吉村正則 幹事 眞崎一洋
 会報委員 古藤俊隆 森田幸敬
 事 務 局 佐賀市金立町千布 3907
 TEL・FAX 0952-71-8418
 E-mail yrc@aqr.bbq.jp



会長の時間

先週は巨石パークの桜を見てから、懇親例会をしましたが、この一週間で散ってしまいました。なんて儂いものだと思います。9日は地区大会ですので、時間等再度ご確認願います。

「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」

「Engage Rotary, Change Lives」

2013年1月3日(日)より、アメリカ・サンディエゴ国際協議会において、次年度のRIテーマとテーマロゴが、ロン・パートン RI 会長エレクトより発表されました。

出席報告

3月26日/マークアップなし	25名中17名 (免除2名)	73.91%
4月02日/マークアップ1名	25名中17名 (免除2名)	73.91%
4月06日/マークアップなし	25名中16名 (免除2名)	69.56%

会員卓話

吉田政亮会員：

クリスマス家族会に披露したマジックが卓話のつもりでしたが、飲み過ぎであまりうまく出来なかつたので卓話の代わりとは認められませんでした。

今、妻が1人、次女、長男との四人暮らしですが、次女の結婚が決まり、悲しいやら寂しいやら嬉しいやらで。次女は高校の時大変な事故に巻き込まれICUで1ヵ月、開腹したり移植したり心配しました。目の届くところで働かせたいとの思いもあり幼稚園の隣のディサービスで(介護福祉士)働いております。結婚後も隣で働くので顔を合わせます。しっかり者なので、私がまた毎日激励されます。ちょっぴり遠方に嫁いでも良かったのにと思ったりしましたが、何よりも結婚が決まった事が嬉しいです。

私は東京で事務職に就いておりましたが「田舎に帰ってこい」の母の言葉でUターンし、姉が園長のこの幼稚園で送迎などをしながら資格を取り現在に至っております。3年ほど前に「ヨコミネ式教育法」を取り入れました。今までの教育法から急に変わったので、職員の変動もありました。『才能開花の法則』出来ることを環境として与える⇒出来たら楽しい⇒楽しいから自ら練習する⇒練習するから上手になる⇒上手になったら大好きになる。と次の段階に進

んで真似をしたりチャレンジしたり 認めてやること、可能性を最大限に引き出す教育です。今年で3年目で、父兄に聞いたら「子供がたくましくなった」と言われ、結果が出てきたと思いました。教育内容が180度変わったが、個別で出来ることからさせて、時間がかかるが工夫をさせて伸びてきている。

先生たちのやり甲斐も見えてきて、やって良かったなあと思っています。

浅川達夫会員：

3.11から2年経ちますが、1年前に4日間ほど宮城県を中心に回ってきて主に仮設住宅に入居の年配者に限り現状について思った事をお話します。

女性と男性では顕著な違いが出ていて、女性は集会所などに出て活発に交流しているが男性は引きこもりがちで朝からテレビと酒で時間を過ごしているような傾倒があったので「これはヤバカろうなあ」と思っていたら、やはり2年経つと精神性の病気が出てきているとニュースで聞きました。年齢のこともあるし、お金もなく家を建てられない年配の方は、仮設を出てどこに行くのか何ができるのか気になる場所があります。同時に何人かは自立の道を選んだ人もいます。全て流された中の一人は、元外国航路の船員で諸外国を見ていたので、何でも自分でせねばという考え方で、奥さんに「これからは、俺とお前が自立していかなければやっていけない」と震災後2日目から山の畑を耕し始めたなら周りからは変な目で見られたそうです。被災者なので物資の供給を受けようと行列に並ぶが、仮設住宅に入っていないという理由で食糧や家電の供給が受けられなかったと聞き割り切れなさを感じた。(不正受給が無いよう行政の対処)

仮設の方は支援され自立が削がれている。自立していこうとする方はきつけれども老後の自立ができるであろう。不平等ではあるが結果的には自立していく方々は老後生き抜いていけるのではないかと思います。仮設と自立の方々の将来を考えた場合に、折り合いが付くのかなと思いました。

学者ダーウィンは、「生き抜いていける種は環境変化に対応出来る種である」といっています。

メディアも報道の仕方についても報道の及ぼす結果についても責任を持たなければならないのではないかと考えました。

一生安穩に暮せるのは稀有な事ではないかと思いました。アイヌやインディアンの方々の考え方と同じように、今の衣食住土地等総て神のもので、死んだら返す。現状を見たときに、コミュニティー等柔軟に対応していけば、生き抜いていけるのかなと思いました。